



2026年10月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年3月17日

上場会社名 株式会社AB&Company 上場取引所 東
コード番号 9251 URL <https://ab-company.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 市瀬 一浩
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 駒田 道洋 TEL 03 (4500) 1383
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年10月期第1四半期の連結業績 (2025年11月1日～2026年1月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年10月期第1四半期	5,227	15.3	506	39.0	441	36.9	287	35.2	287	35.2	288	35.0
2025年10月期第1四半期	4,535	8.2	364	8.6	322	9.6	212	△0.5	212	△0.5	213	0.2

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2026年10月期第1四半期	円 銭 20.17	円 銭 20.06
2025年10月期第1四半期	円 銭 15.01	円 銭 14.96

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
2026年10月期第1四半期	百万円 29,319	百万円 8,430	百万円 8,430	% 28.8
2025年10月期	百万円 27,077	百万円 8,997	百万円 8,997	% 33.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年10月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 60.00	円 銭 60.00
2026年10月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2026年10月期 (予想)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 60.00	円 銭 60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年10月期の連結業績予想 (2025年11月1日～2026年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	22,897	18.2	2,400	47.1	2,230	49.7	1,471	64.6	1,471	64.6	103.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年10月期 1 Q	15,247,114株	2025年10月期	15,247,114株
② 期末自己株式数	2026年10月期 1 Q	1,001,065株	2025年10月期	1,001,065株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年10月期 1 Q	14,246,049株	2025年10月期 1 Q	14,158,659株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。また、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの概況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(要約四半期連結損益計算書)	7
(要約四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や企業における賃上げの動きが継続する中で、個人消費は緩やかな回復基調を維持し、経済活動は概ね安定的に推移いたしました。インバウンド需要は堅調に推移しているものの、物価上昇の影響もあり、消費者の購買行動には引き続き慎重さが見られております。当社グループが属する美容業界におきましては、価格改定の浸透等により客単価は上昇傾向で推移しており、来店客数は安定的に推移していることから、業界全体としては概ね堅調な事業環境が継続しております。

一方で、円安基調の継続やエネルギー価格の高止まり、原材料費及び人件費の上昇などにより企業のコスト負担は高い水準が続いております。

さらに、世界的な金融政策の動向や地政学的リスクの継続、為替相場の変動等が国内経済へ与える影響については不透明な状況にあり、景気の先行きについては注視が必要な状況が続いております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績の状況は以下のとおりであります。

(売上収益、売上原価、売上総利益)

売上収益は、前期下期に美容室運営法人3社のM&Aを実行したことによる店舗数の増加により、前第1四半期連結累計期間比691百万円増加し、5,227百万円(前年同四半期比15.3%増)となりました。前第1四半期連結累計期間比で直営美容室運営事業が762百万円、フランチャイズ事業の売上収益が78百万円の増収、インテリアデザイン事業が164百万円の減収となりました。

売上原価は、美容室運営法人3社のM&Aを実行したことによる店舗数の増加が主因で、前第1四半期連結累計期間比で343百万円の増加となり、2,738百万円(同14.3%増)となりました。

この結果、売上総利益は前第1四半期連結累計期間比348百万円増加し、2,489百万円(同16.3%増)となりました。

(販売費及び一般管理費、その他収益、その他費用、営業利益)

販売費及び一般管理費は、美容室運営法人3社のM&Aを実行したことによる固定費の増加や、事業拡大に伴う人員の増加等により前第1四半期連結累計期間比で206百万円増加し、2,021百万円(同11.4%増)となりました。

その他収益は、前第1四半期連結累計期間比で5百万円増加し、46百万円(同14.4%増)となりました。

その他費用は、前第1四半期連結累計期間比で5百万円増加し、8百万円(同174.7%増)となりました。

この結果、営業利益は前第1四半期連結累計期間比で142百万円増加し、506百万円(同39.0%増)となりました。

(金融収益、金融費用、税引前四半期利益)

金融収益は、前第1四半期連結累計期間比で0百万円増加し、0百万円(同54.0%増)となりました。

金融費用は、前第1四半期連結累計期間比で23百万円増加し、64百万円(同56.0%増)となりました。

この結果、税引前四半期利益は前第1四半期連結累計期間比で119百万円増加し、441百万円(同36.9%増)となりました。

(法人所得税費用、四半期利益)

法人所得税費用は、前第1四半期連結累計期間比44百万円増加し、154百万円(同40.1%増)となりました。

四半期利益は、前第1四半期連結累計期間比で74百万円増加し、この結果、四半期利益は287百万円(同35.2%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(直営美容室運営事業)

直営美容室運営事業につきましては、前期末に美容室運営法人3社のM&Aを実行したことにより、美容サービス収益が増加しました。この結果、売上収益は4,457百万円(同20.6%増)、外部収益は4,457百万円(同20.6%増)、セグメント利益は68百万円(前年同期は33百万円の損失)となりました。

(フランチャイズ事業)

フランチャイズ事業につきましては、フランチャイズ店舗の新規出店により、ロイヤリティー収益が増加いたしました。この結果、売上収益は778百万円(同11.3%増)、外部収益は494百万円(同15.2%増)、セグメント利益は328百万円(同23.5%増)となりました。

(インテリアデザイン事業)

インテリアデザイン事業につきましては、主として他業種向けの売上が減少いたしました。この結果、売上収益は355百万円(同31.6%減)、外部収益は275百万円(同33.0%減)、セグメント損失は39百万円(前年同期は10百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ713百万円増加し、5,084百万円となりました。これは主として、現金及び現金同等物の増加523百万円、営業債権及びその他の債権の増加42百万円、棚卸資産の増加108百万円、その他の流動資産の増加37百万円等によるものであります。非流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,529百万円増加し、24,235百万円となりました。これは主として、使用権資産の増加1,556百万円によるものであります。

この結果、資産は、前連結会計年度末に比べ2,242百万円増加し、29,319百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ338百万円増加し、6,627百万円となりました。これは主として、営業債務及びその他の債務の増加222百万円、借入金(流動)の増加283百万円、納付等に伴う未払法人所得税等の減少199百万円、その他の流動負債の増加24百万円等によるものであります。非流動負債は、前連結会計年度末に比べ2,470百万円増加し、14,261百万円となりました。これは主として、借入金(非流動)の増加936百万円、リース負債(非流動)の増加1,528百万円等によるものであります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べ2,808百万円増加し、20,888百万円となりました。

(資本)

資本は、前連結会計年度末に比べ566百万円減少し、8,430百万円となりました。これは主として、親会社の所有者に帰属する四半期利益による利益剰余金の増加287百万円に対し、配当に伴う利益剰余金の減少854百万円の差額による利益剰余金の減少567百万円等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ523百万円増加し、2,787百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は735百万円(前年同期は360百万円の増加)となりました。これは主に増加要因として税引前四半期利益441百万円(前年同期比119百万円の増加)、減価償却費及び償却費570百万円(前年同期比4百万円の減少)、営業債務及びその他の債務の増加235百万円(前年同期比327百万円の増加)等に対し、固定資産除売却益12百万円(前年同期比5百万円の減少)、営業債権及びその他の債権の増加42百万円(前年同期比67百万円の増加)、棚卸資産の増加108百万円(前年同期比56百万円の増加)、法人所得税の支払額333百万円(前年同期比75百万円の増加)等の資金減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は83百万円(前年同期は68百万円の減少)となりました。これは主に増加要因として、有形固定資産の売却による収入24百万円(前年同期比5百万円の増加)等に対し、有形固定資産の取得による支出109百万円(前年同期比32百万円の増加)等の資金減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は127百万円(前年同期は512百万円の減少)となりました。これは主に増加要因として、長期借入れによる収入1,487百万円(前年同期比1,487百万円の増加)に対し、長期借入金の返済による支出264百万円(前年同期比79百万円の増加)、リース負債の返済による支出482百万円(前年同期比52百万円の増加)、配当金の支払額854百万円(前年同期457百万円の増加)等の資金減少要因があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月15日付で公表いたしました2026年10月期通期業績予想に変更はありません。2026年10月期においては、各セグメントの業績がいずれも堅調に推移すると見込んでおります。なお、本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年1月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	2,263	2,787
営業債権及びその他の債権	1,280	1,323
棚卸資産	344	452
その他の流動資産	482	520
流動資産合計	4,370	5,084
非流動資産		
有形固定資産	1,607	1,608
使用権資産	5,392	6,948
のれん	9,713	9,713
無形資産	4,374	4,362
その他の金融資産	736	728
繰延税金資産	823	822
その他の非流動資産	58	52
非流動資産合計	22,706	24,235
資産合計	27,077	29,319

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年1月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,169	1,392
契約負債	54	54
借入金	2,138	2,421
リース負債	1,837	1,844
未払法人所得税等	313	114
その他の流動負債	774	799
流動負債合計	6,288	6,627
非流動負債		
借入金	5,839	6,775
リース負債	3,662	5,191
引当金	1,026	1,031
繰延税金負債	1,263	1,263
非流動負債合計	11,791	14,261
負債合計	18,080	20,888
資本		
資本金	211	211
資本剰余金	5,018	5,018
利益剰余金	4,749	4,181
自己株式	△995	△995
その他の資本の構成要素	14	15
親会社の所有者に帰属する持分合計	8,997	8,430
資本合計	8,997	8,430
負債及び資本合計	27,077	29,319

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年1月31日)
売上収益	4,535	5,227
売上原価	△2,394	△2,738
売上総利益	2,140	2,489
販売費及び一般管理費	△1,814	△2,021
その他収益	40	46
その他費用	△2	△8
営業利益	364	506
金融収益	0	0
金融費用	△41	△64
税引前四半期利益	322	441
法人所得税費用	△110	△154
四半期利益	212	287
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	212	287
四半期利益	212	287
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	15.01	20.17
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	14.96	20.06

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年1月31日)
四半期利益	212	287
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	0	0
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	0	0
税引後その他の包括利益	0	0
四半期包括利益	213	288
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	213	288
四半期包括利益	213	288

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の 構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	
					新株 予約権	その他の 包括利益 累計額		
2024年11月1日残高	195	5,002	4,252	△995	8	8	8,472	8,472
四半期利益	—	—	212	—	—	—	212	212
その他の包括利益	—	—	—	—	—	0	0	0
四半期包括利益合計	—	—	212	—	—	0	213	213
剰余金の配当	—	—	△397	—	—	—	△397	△397
所有者との取引額合計	—	—	△397	—	—	—	△397	△397
2025年1月31日残高	195	5,002	4,068	△995	8	9	8,288	8,288

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の 構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	
					新株 予約権	その他の 包括利益 累計額		
2025年11月1日残高	211	5,018	4,749	△995	7	6	8,997	8,997
四半期利益	—	—	287	—	—	—	287	287
その他の包括利益	—	—	—	—	—	0	0	0
四半期包括利益合計	—	—	287	—	—	0	288	288
剰余金の配当	—	—	△854	—	—	—	△854	△854
所有者との取引額合計	—	—	△854	—	—	—	△854	△854
2026年1月31日残高	211	5,018	4,181	△995	7	7	8,430	8,430

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	322	441
減価償却費及び償却費	575	570
金融収益及び金融費用	41	64
固定資産除売却損益 (△は益)	△18	△12
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	24	△42
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△52	△108
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△91	235
契約負債の増減額 (△は減少)	△31	△0
その他	△116	△20
小計	654	1,127
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△35	△58
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△258	△333
営業活動によるキャッシュ・フロー	360	735
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△77	△109
有形固定資産の売却による収入	19	24
無形資産の取得による支出	△1	△0
差入保証金の差入による支出	△11	△0
差入保証金の回収による収入	5	5
その他	△3	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△68	△83
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500	—
長期借入れによる収入	—	1,487
長期借入金の返済による支出	△185	△264
リース負債の返済による支出	△430	△482
配当金の支払額	△397	△854
その他	—	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△512	△127
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△220	523
現金及び現金同等物の期首残高	2,241	2,263
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,020	2,787

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(有形固定資産の耐用年数及び使用権資産のリース期間の変更)

当社は、店舗設備等の使用実態及び今後の使用見込みを踏まえ、当第1四半期連結会計期間より一部の有形固定資産の耐用年数及び一部の使用権資産のリース期間を見直し、将来にわたり変更しております。

これにより、使用権資産が1,736百万円、リース負債が1,741百万円増加しております。

また、当第1四半期連結累計期間の減価償却費が54百万円減少して営業利益は同額増加し、リース負債の増加等に伴う支払利息が11百万円増加したため、税引前四半期利益は43百万円増加しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営者が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは持株会社体制をとっており、当社は持株会社としてグループ経営戦略の策定及びグループ会社の経営指導等を行い、各子会社において事業活動を展開しております。当社グループは、事業の種類別に「直営美容室運営事業」、「フランチャイズ事業」及び「インテリアデザイン事業」の3つを報告セグメントとしております。

直営美容室運営事業は、当社グループにおける直営店舗の運営による美容サービスの提供を行っております。

フランチャイズ事業は、当社グループのフランチャイズ加盟店に対して、経営指導、企業ノウハウ及び教育研修の提供、プライベートブランド商品の販売、材料仕入、広告代理業務、採用、経理や管理業務の代行等を行っております。

インテリアデザイン事業は、美容室等の内装デザインや施工業者のアレンジ等のサービス提供を行っております。

(2) 報告セグメントに関する情報

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。なお、セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

前第1四半期連結累計期間(自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	直営美容室 運営事業	フランチャ イズ事業	インテリア デザイン 事業	計				
売上収益								
外部収益	3,695	429	410	4,535	—	4,535	—	4,535
セグメント間収益	—	270	108	378	248	627	△627	—
計	3,695	699	519	4,914	248	5,163	△627	4,535
セグメント損益	△33	266	10	242	121	364	△0	364

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、本社管理事業等を含んでおります。

2. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年11月1日 至 2026年1月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	直営美容室 運営事業	フランチャ イズ事業	インテリア デザイン 事業	計				
売上収益								
外部収益	4,457	494	275	5,227	—	5,227	—	5,227
セグメント間収益	—	284	80	364	271	635	△635	—
計	4,457	778	355	5,591	271	5,863	△635	5,227
セグメント損益	68	328	△39	358	150	508	△2	506

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、本社管理事業等を含んでおります。

2. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

(1株当たり情報)

(第1四半期連結累計期間)

(1) 基本的1株当たり四半期利益の算定上の基礎

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年1月31日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	212	287
期中平均普通株式数(株)	14,158,659	14,246,049
基本的1株当たり四半期利益(円)	15.01	20.17

(2) 希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年1月31日)
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益(百万円)	212	287
期中平均普通株式数(株)	14,158,659	14,246,049
普通株式増加数		
ストック・オプション(株)	50,862	80,812
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	14,209,521	14,326,861
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	14.96	20.06

(重要な後発事象)

該当事項はありません。